



用意するもの



ミニ・キエー口



28 容器

スコップ

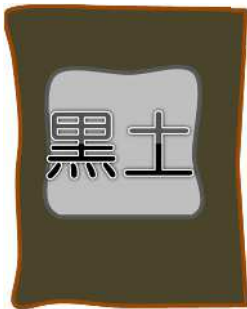
中型のスコップ
もあとと便利
です



水

黒土 (14 を2袋程度)

細かい土で水はけが悪く
水持ちが良いので黒土が
ちょうど良いです



生ごみ

1回約 500g

3, 4日分を、ふた付
の容器に入れておき
ます
少し傷んだ方が分解
しやすいですが、取っ
ておけないものはす
ぐに入れても大丈夫
です



黒土はホームセンター等で
売っているものでOKです

熱処理したものは
バクテリアがないので×です

黒土の中にもともといるバクテリアが生
ごみを分解するので何度分解しても土はほ
とんど増えたり減ったりしないのです



ミニ・キエー口の使い方

陽当たりが良く、
風の通る場所に置きます

重要!



20 cmぐらいの穴を
掘り、生ごみを入れます



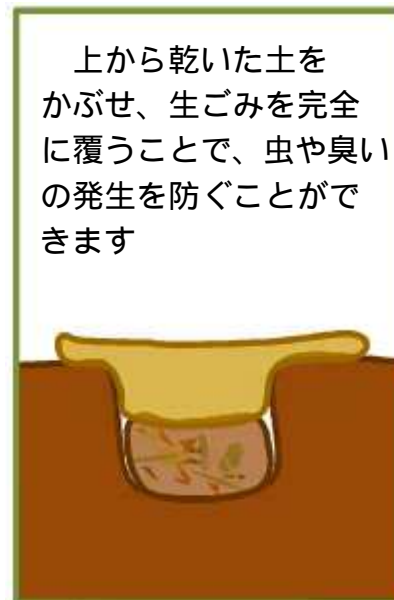
生ごみと土を
よくかき混ぜます

混ぜることで、
土中のバクテリア
が活性化し、虫の
発生防止にも
なります



土の水分量を
調節します

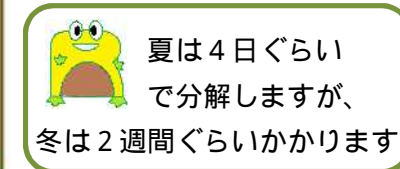
お水を入れすぎ
ると生ごみが
腐ったり
虫が発生する
こともあり
ます



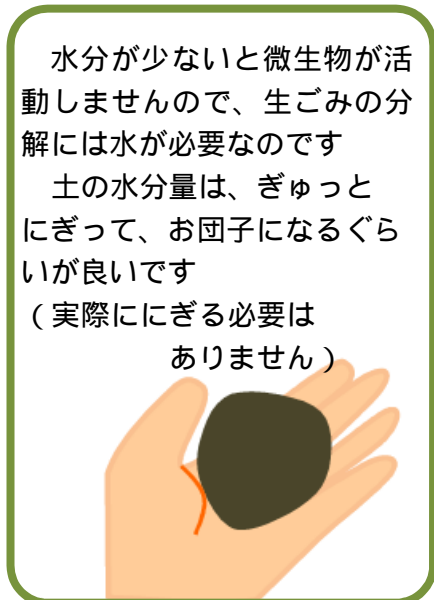
上から乾いた土を
かぶせ、生ごみを完全
に覆うことで、虫や臭い
の発生を防ぐことがで
きます



少量の場合は2か所を交
互に使います
目印に旗などを立てると良
いです



夏は4日ぐらい
で分解しますが、
冬は2週間ぐらいかかります



水分が少ないと微生物が活
動しませんので、生ごみの分
解には水が必要なのです

土の水分量は、ぎゅっと
にぎって、お団子になるぐ
らいが良いです

(実際ににぎる必要は
ありません)



ミニ・キエー口の使い方のコツ



生ごみには、分解しやすいものと分解しにくいもの
分解しないものがあります。

人間が食べられるもの、カロリーが高いものや加熱し
たもの、細かくしたものなど、人間が食べやすいものが
分解しやすいです。

しっかり穴を掘り、生ごみと土をよく混ぜ、土をかぶ
せてフタをするのがコツです。

ミニ・キエー口は自然の力で生ごみを分解するもので
す。家庭から出るすべてのごみを処理できるわけではあ
りません。

生ごみは土で処理できることを体験していただくため
のものです。家庭から出るごみの一部を処理するものと
してご活用ください。



よく分解するもの、しにくいもの



よく分解するもの

お茶がら、コーヒーかす、傷んだ野菜や果
物、肉、魚、魚の内臓・煮汁、エビの殻、
食用廃油、菓子、マヨネーズ、ヨーグルト、
期限切れの食品、塩辛カレー、シチューの
残飯、カビの生えたもの、飲み残しのお酒

やや分解しにくいもの

野菜の葉・芯・皮、枝豆、そら豆の皮
レモン、みかんなどの柑橘類の皮
大根、人参、ごぼうなど、土の中でできる
もの、魚の小骨

×分解しにくいもの

鶏や豚の骨、貝殻、卵の殻、魚の大きな骨、
タケノコの皮、玉ねぎの皮、豆類のさやの
筋、トウモロコシの皮・芯・毛、栗の鬼皮、
アボカド、ゴーヤ、梅干しの種、わさびな
ど殺菌力のあるもの